



# 第192回生存圏シンポジウム 生存圏データベース(材鑑調査室) 全国共同利用研究報告会

日時 2012年2月28日(火)

場所 京大大学生存圏研究所 木質ホール 3階 大会議室



13:05 挨拶

京都大学 杉山淳司

13:15~14:45 成果報告会1(各15分:発表12分/質疑3分)

ケヤキ材の経年による材質変化

京都大学 松尾美幸

文化財用材としてのヒノキ科樹種の識別

京都大学 横山操

遺跡出土木材保存研究のための材料確保

京都大学 遠藤利恵

日本古来の天然繊維

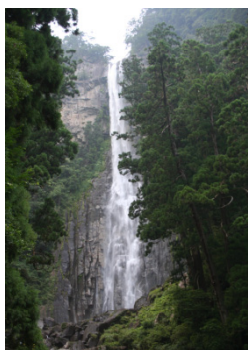
京都大学 反町始

関西北陸地域における木質文化財の樹種識別調査

京都大学 田鶴寿弥子

生物多様性に基づく中国産木材の構造的特徴の精査(Ⅱ)

奈良文化財研究所 伊東隆夫



(休憩15分)

15:00~16:30 成果報告会2(各15分:発表12分/質疑3分)

藤末鎌初の仏像修復に用いられていた木材と用いた木材

東京芸術大学 矢野健一郎

古代土木工法の敷葉工法に関連する樹種選択性の解明

大阪府文化財センター 山口誠治

民家の発達と使用樹種の変化

武蔵大学 中尾七重

国内大学の木材標本データベースの統合に向けた事前調査

北海道大学 佐野雄三

日本産木材標本採集実習の研究成果

—弥生時代から古墳時代の関東地方におけるイチイガシ資源利用—  
森林総合研究所 能城修一

木材から抽出したDNAを用いたアスナロとその変種ヒノキアスナロの分類

—SSRマーカーによるヒノキアスナロの種内変異を中心に—  
秋田県立大学 高田克彦



問い合わせ先

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京大大学生存圏研究所 バイオマス形態情報分野

mail: lbmi-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

電話: 0774-38-3634 FAX: 0774-38-3635